

結果の概要

1 概説

(1) 学校(園)数、園児・児童・生徒数、教員数

学校数を前年度と比較すると、専修学校が増加し、小学校、中学校、高等学校、養護学校、幼稚園、各種学校が減少、そのほかは同数である。

園児・児童・生徒数では、小学校、中等教育学校、養護学校、幼稚園が増加し、中学校、高等学校、高等学校通信制、盲学校、聾学校、専修学校、各種学校が減少した。

教員数では、小学校、中等教育学校、聾学校、養護学校、幼稚園、専修学校が増加し、中学校、高等学校、高等学校通信制、盲学校、各種学校が減少した。(表1)

表1 学校(園)数、園児・児童・生徒数、教員数(本務者)

(単位：校、園、人、%)

区分	学校(園)数				園児・児童・生徒数				教員数(本務者)			
	平成16年度	平成15年度	対前年度増減数	対前年度増減率	平成16年度	平成15年度	対前年度増減数	対前年度増減率	平成16年度	平成15年度	対前年度増減数	対前年度増減率
総数	4 516	4 542	26	0.6	1 629 324	1 633 548	4 224	0.3	92 650 (455)	92 418 (470)	232 (15)	0.3 (3.2)
小学校	1 399	1 404	5	0.4	572 575	567 216	5 359	0.9	29 737	29 373	364	1.2
中学校	837	839	2	0.2	295 387	299 439	4 052	1.4	18 074	18 223	149	0.8
高等学校	445	452	7	1.5	325 178	329 659	4 481	1.4	19 291	19 445	154	0.8
高等学校通信制	10	10	-	-	21 308	22 699	1 391	6.1	321	328	7	2.1
中等教育学校	1	1	-	-	694	693	1	0.1	43	42	1	2.4
盲学校	5	5	-	-	447	450	3	0.7	264	268	4	1.5
聾学校	9	9	-	-	656	664	8	1.2	391	389	2	0.5
養護学校	54	55	1	1.8	7 745	7 439	306	4.1	4 200	4 133	67	1.6
幼稚園	1 108	1 117	9	0.8	179 026	176 905	2 121	1.2	10 612 (455)	10 496 (470)	116 (15)	1.1 (3.2)
専修学校	466	463	3	0.6	193 273	194 544	1 271	0.7	8 231	8 173	58	0.7
各種学校	182	187	5	2.7	33 035	33 840	805	2.4	1 486	1 548	62	4.0

注 1) 高等学校及び中等教育学校の生徒数は、本科のみであり、専攻科及び別科は含まない。

2) 幼稚園教員数の()内数値は、教育補助員で外数である。

3) 高等専門学校・短期大学・大学については、文部科学省が直接調査しているため、除外してある。

昭和30年度から小学校、中学校、高等学校、幼稚園について、園児・児童・生徒数の推移をみると、小学校は、昭和54年度をピークに平成12年度まで減少が続いたが、平成13年度から4年続けて増加した。

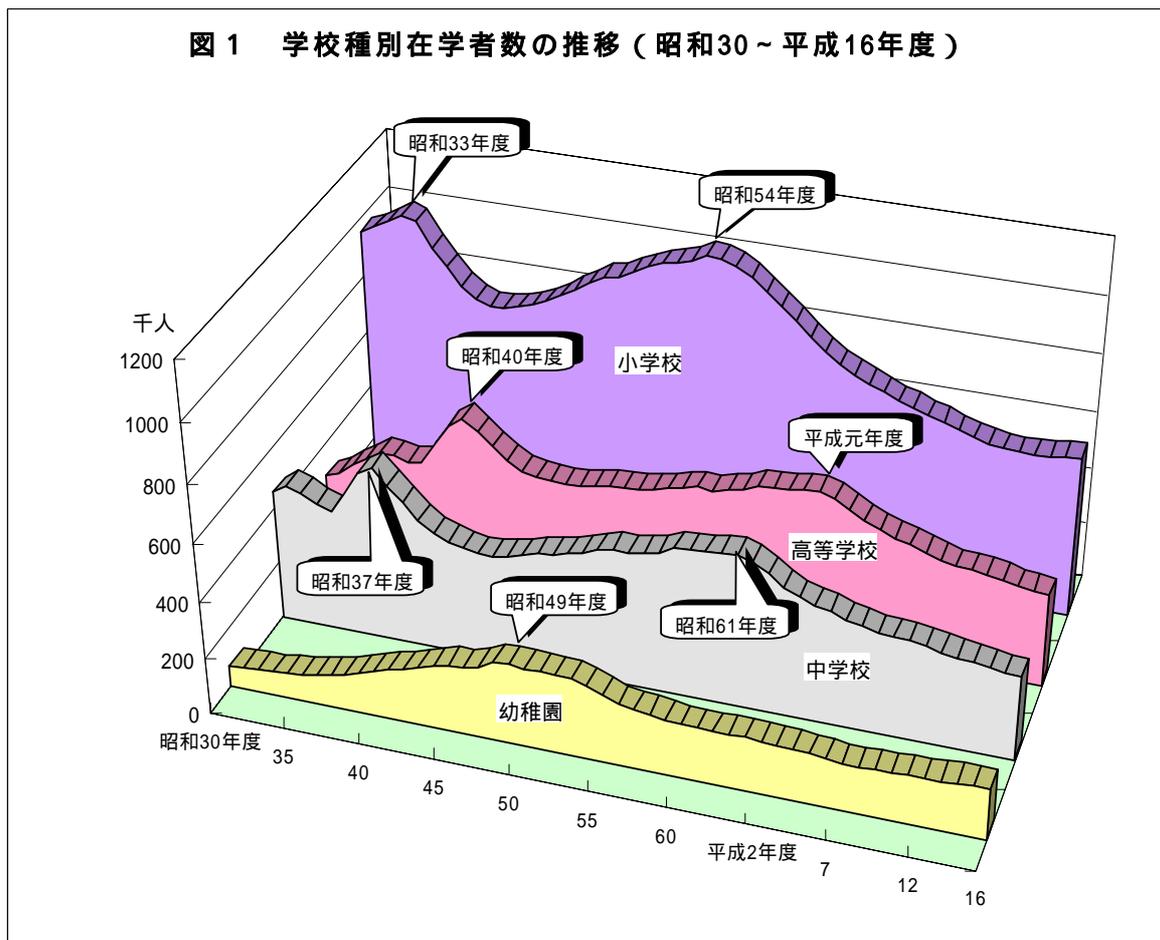
中学校は、昭和37年度のピークから昭和45年度まで減少し、その後昭和61年度まで増加傾向がみられたが、昭和62年度から再び本年度まで減少している。

また、中学生総数に占める私立生徒数の割合は、昭和57年度の10.8%から毎年度上昇を続け、今年度は25.3%となった。

高等学校は、昭和40年度のピークから昭和47年度まで減少し、その後、平成元年度まで増加傾向がみられたが、平成2年度から再び本年度まで減少している。

幼稚園は、昭和49年度をピークに減少傾向にあったが、平成10年度から増加している。(図1)

2 結果の概要：概説



平成15年度間の長期欠席者数（年度間に30日以上欠席した人数）は、小学生が4,586人で前年度間より217人（4.5%）、中学生が9,131人で316人（3.3%）減少した。中学生の長期欠席者のうち不登校は、平成3年度間から平成12年度間まで増加したが、平成13年度間から15年度間まで減少した。（統計表2-4-2、3-4-2、付表）

（2）卒業後の状況

中学校の卒業生総数は、103,452人で前年度より883人減少し、高等学校等進学率は、前年度より0.1ポイント低下し97.3%となった。進学率を男女別にみると、男は0.2ポイント上昇し97.3%となったが、女は0.3ポイント低下し97.4%となった。

就職率は、0.6%で過去最低となった前年度と同率である。（図2-1、図2-3、統計表9-1）

高等学校の卒業生総数は105,697人で前年度より4,471人、大学等進学者数は56,579人で1,238人減少した。大学等進学率は、53.5%で前年度より1.0ポイント上昇し過去最高となった。

専修学校専門課程への進学率は、15.3%で前年度より0.3ポイント上昇した。

就職率は、6.8%で前年度より0.2ポイント上昇し、19年ぶりに増加した。

（図2-2、図2-3、統計表10-1）

図2-1 中学校の卒業生数及び進学率の推移

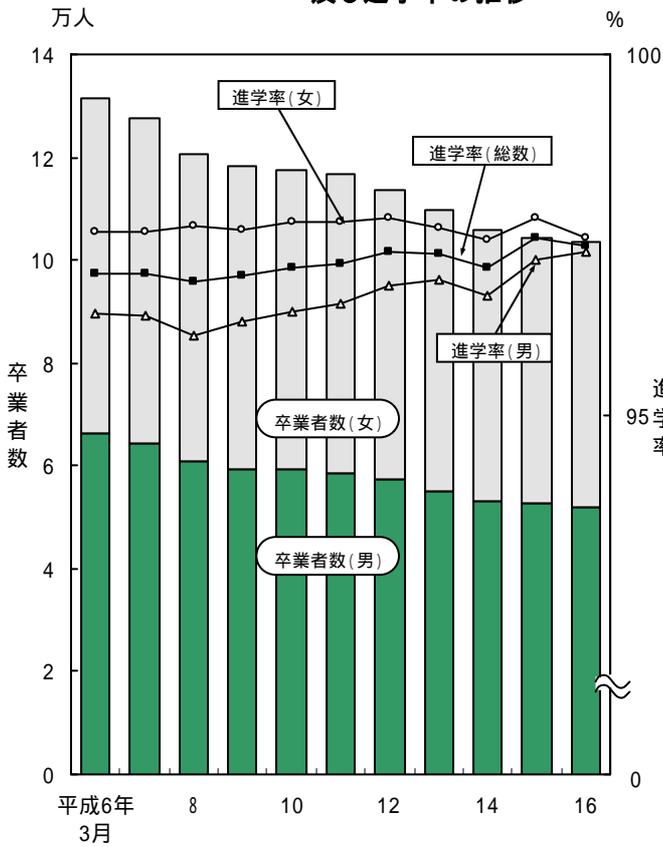


図2-2 高等学校の卒業生数及び進学率の推移

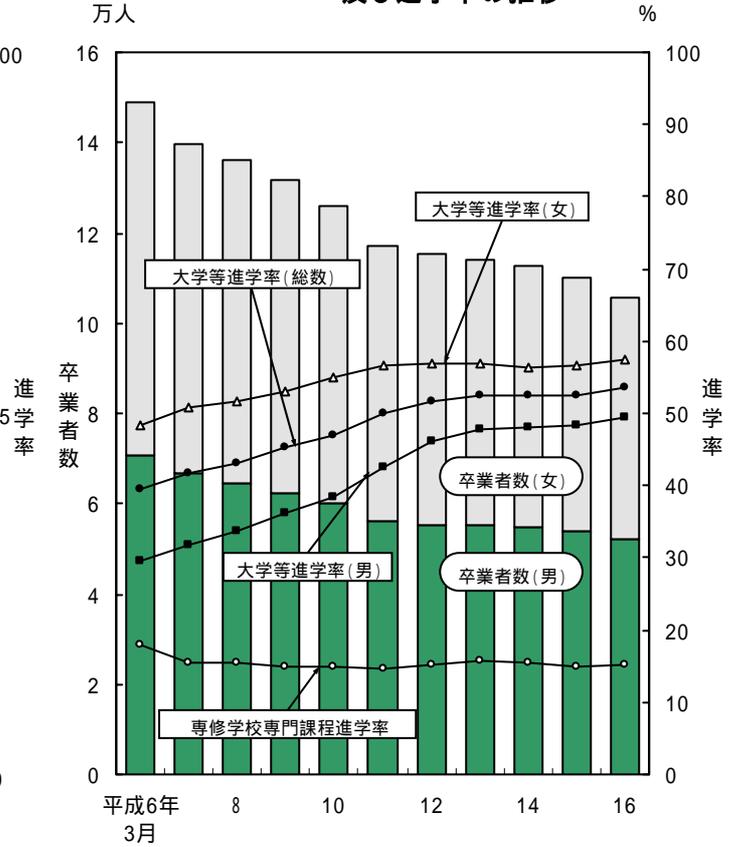
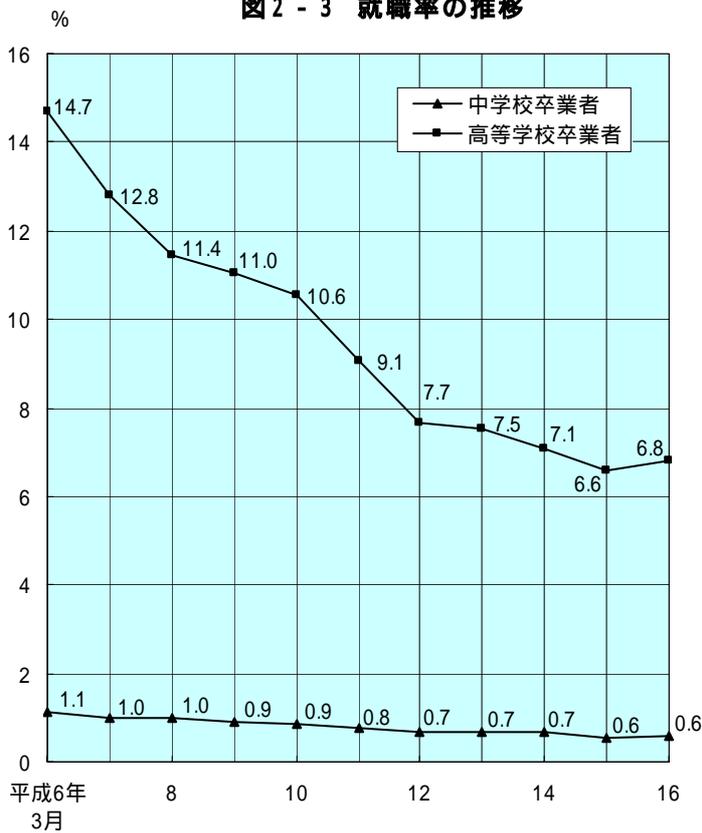


図2-3 就職率の推移



4 結果の概要：小学校

2 小学校

(1) 学校数

学校数は、1,399校で前年度より5校(0.4%)減少した。

地域別にみると、区部907校、市部457校、郡部11校、島部24校となった。

設置者別では、公立が1,342校で5校(0.4%)減少し、国立6校、私立51校は前年度と同数である。(表3)

表2 小学校数、学級数、児童数、教員数(本務者)の推移

(単位：校、学級、人、%)

年 度	学 校 数	学 級 数	児 童 数	対 前 年 度 増 減 率	教 員 数 (本 務 者)	対 前 年 度 増 減 率
平成6年度	1 467 (1)	20 717	634 355	2.6	30 721	1.2
11	1 446	18 664	561 792	2.0	28 799	1.2
12	1 441	18 541	557 808	0.7	28 603	0.7
13	1 429 (1)	18 614	558 286	0.1	28 738	0.5
14	1 411 (3)	18 623	560 912	0.5	28 964	0.8
15	1 404 (3)	18 783	567 216	1.1	29 373	1.4
16	1 399 (4)	18 911	572 575	0.9	29 737	1.2

注) ()内数値は、休校等の学校数で内数である。

表3 地域・設置者別学校数

(単位：校、%)

区 分	平成6年度	構成比	11	12	13	14	15	16	構成比
総 数	1 467	100.0	1 446	1 441	1 429	1 411	1 404	1 399	100.0
(地 域 別)									
区 部	959	65.4	940	935	927	914	908	907	64.8
市 部	467	31.8	470	470	466	461	460	457	32.7
郡 部	17	1.2	12	12	12	12	12	11	0.8
島 部	24	1.6	24	24	24	24	24	24	1.7
(設 置 者 別)									
国 立	6	0.4	6	6	6	6	6	6	0.4
公 立	1 410	96.1	1 390	1 385	1 373	1 354	1 347	1 342	95.9
					(1)	(3)	(3)	(4)	(0.3)
私 立	51	3.5	50	50	50	51	51	51	3.6
	(1)	(0.1)							

注) ()内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 学級数

学級数は、18,911学級(単式学級18,288学級、複式学級16学級、75条学級607学級)で前年度より128学級(0.7%)増加した。

設置者別にみると、公立が18,068学級で128学級(0.7%)増加した。国立は122学級、私立は721学級で前年度と同数である。

収容人員別では、1学級31人~35人の学級が6,221学級(構成比32.9%)と最も多く、次いで26人~30人の学級が5,136学級(同27.2%)、36人~40人の学級が4,049学級(同21.4%)の順となり、この3区分で全体の81.5%を占める。

1学級当たりの児童数は、30.3人で前年度より0.1人増加した。(表4、表5、図3)

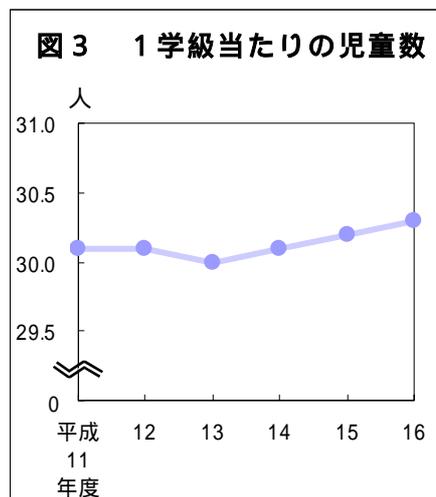


表 4 設置者別学級数

(単位：学級、%)

区分	平成6年度	11	12	13	14	15	16
総数	20 717	18 664	18 541	18 614	18 623	18 783	18 911
国立	120	120	120	120	120	122	122
公立	19 896	17 853	17 729	17 795	17 783	17 940	18 068
私立	701	691	692	699	720	721	721
対前年度増減率	2.1	2.7	0.7	0.4	0.0	0.9	0.7

表 5 収容人員別学級数(設置者別)

(単位：学級)

区分	総数	12人以下	13~20	21~25	26~30	31~35	36~40	41~45	46人以上
総数	18 911	763	413	2 145	5 136	6 221	4 049	179	5
国立	122	5	-	-	5	7	100	5	-
公立	18 068	730	409	2 127	5 105	6 158	3 507	32	-
私立	721	28	4	18	26	56	442	142	5

(3) 児童数

児童数は、572,575人で前年度より5,359人(0.9%)増加した。過去5年間の推移をみると、平成13年度から増加している。

地域別にみると、区部が358,346人で前年度より2,874人(0.8%)、市部が209,590人で2,591人(1.3%)増加し、郡部が3,256人で58人(1.8%)、島部が1,383人で48人(3.4%)減少した。

設置者別では、公立が541,614人で5,360人(1.0%)増加し、国立が4,549人で1人(0.0%)減少した。私立は26,412人で前年度と同数である。(表6)

表 6 男女・地域・設置者別児童数

(単位：人、%)

区分	平成6年度		11		12	13	14	15	16	
	数	構成比	数	構成比					数	構成比
総数	634 355	100.0	561 792	100.0	557 808	558 286	560 912	567 216	572 575	100.0
(男女別)										
男	324 261	51.1	286 704	51.0	284 732	285 019	286 251	289 774	292 491	51.1
女	310 094	48.9	275 088	49.0	273 076	273 267	274 661	277 442	280 084	48.9
(地域別)										
区部	404 428	63.8	354 361	63.1	351 042	350 828	351 744	355 472	358 346	62.6
市部	221 801	35.0	202 096	36.0	201 592	202 597	204 365	206 999	209 590	36.6
郡部	5 857	0.9	3 501	0.6	3 350	3 297	3 296	3 314	3 256	0.6
島部	2 269	0.4	1 834	0.3	1 824	1 564	1 507	1 431	1 383	0.2
(設置者別)										
国立	4 484	0.7	4 525	0.8	4 527	4 530	4 539	4 550	4 549	0.8
公立	603 644	95.2	531 088	94.5	527 122	527 616	530 109	536 254	541 614	94.6
私立	26 227	4.1	26 179	4.7	26 159	26 140	26 264	26 412	26 412	4.6

6 結果の概要：小学校

75 条学級の児童数は、3,699 人で前年度より 245 人（7.1%）増加し、10 年前の平成 6 年度より 1,043 人増加した。（表 7）

表 7 公立・私立別 75 条学級のある学校数、学級数、児童数

（単位：校、学級、人）

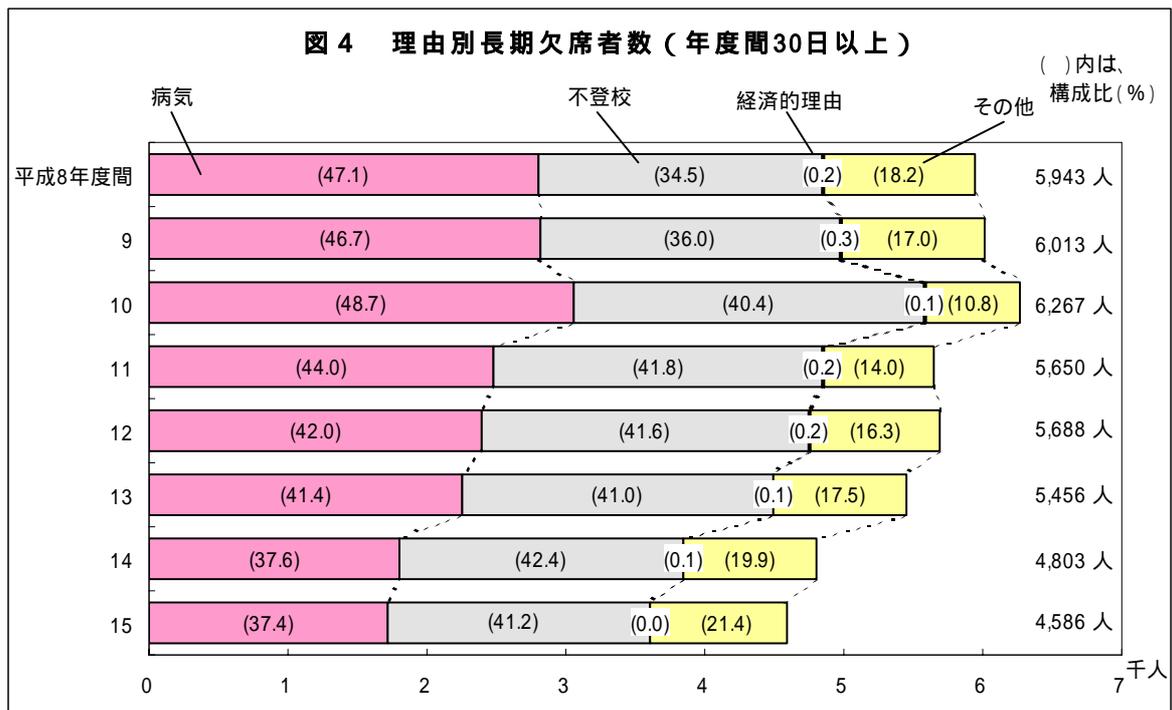
年 度	学 校 数			学 級 数			児 童 数		
	学 校 数	公 立	私 立	学 級 数	公 立	私 立	児 童 数	公 立	私 立
平成 6 年度	353	352	1	655	640	15	2 656	2 509	147
11	273	272	1	513	498	15	3 002	2 846	156
12	273	272	1	521	505	16	3 016	2 852	164
13	272	271	1	525	508	17	3 085	2 915	170
14	272	271	1	545	527	18	3 269	3 093	176
15	275	274	1	574	556	18	3 454	3 280	174
16	281	280	1	607	589	18	3 699	3 521	178

（4）長期欠席者数（平成 15 年度間）

平成 15 年度間に 30 日以上欠席した児童は、4,586 人で前年度間より 217 人（4.5%）減少した。理由別内訳では、病気が 1,714 人で前年度間より 91 人（5.0%）、経済的理由が 1 人で 3 人（75.0%）、不登校が 1,889 人で 149 人（7.3%）減少し、その他が 982 人で 26 人（2.7%）増加した。

不登校を構成比で見ると、前年度間より 1.2 ポイント低下の 41.2%となった。

児童総数（567,216 人）からみると、長期欠席者は 123.7 人に 1 人、病気が 330.9 人に 1 人、不登校が 300.3 人に 1 人の割合となった。（図 4、統計表 2-4-2）



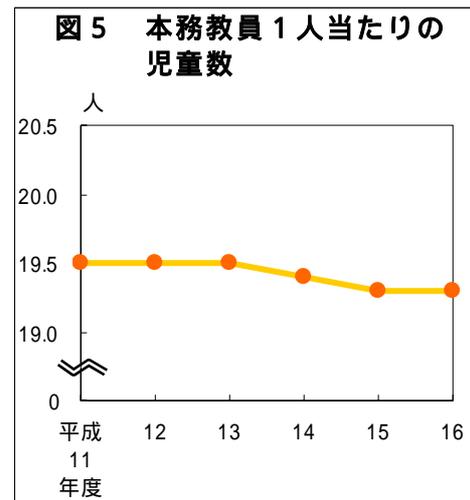
(5) 教員数(本務者)

教員数は、29,737人で前年度より364人(1.2%)増加した。

男女別では、男が10,402人で前年度より126人(1.2%)、女が19,335人で238人(1.2%)増加した。教員数に占める女性教員の割合は、65.0%で前年度と同率である。

設置者別では、公立が28,317人で前年度より358人(1.3%)、私立が1,255人で7人(0.6%)増加し、国立が165人で1人(0.6%)減少した。

教員1人当たりの児童数は、前年度と同じ19.3人である。(表8、図5)

**表8 男女・設置者別教員数(本務者)**

(単位：人、%)

区分	平成6年度	11	12	13	14	15	16
総数	30 721	28 799	28 603	28 738	28 964	29 373	29 737
(男女別)							
男	10 800	9 990	9 963	10 020	10 116	10 276	10 402
女	19 921	18 809	18 640	18 718	18 848	19 097	19 335
(設置者別)							
国立	166	166	167	167	166	166	165
公立	29 351	27 410	27 213	27 352	27 554	27 959	28 317
私立	1 204	1 223	1 223	1 219	1 244	1 248	1 255
女性教員数の割合	64.8	65.3	65.2	65.1	65.1	65.0	65.0

3 中学校

(1) 学校数

学校数は、837校で前年度より2校(0.2%)減少した。

地域別にみると、区部555校、市部258校、郡部7校、島部17校となった。

設置者別では、公立が651校で前年度より2校(0.3%)減少し、国立7校、私立179校は前年度と同数である。(表10)

表9 中学校数、学級数、生徒数、教員数(本務者)の推移

(単位：校、学級、人、%)

年 度	学 校 数	学 級 数	生 徒 数	対 前 年 度	
				増 減	率
平成6年度	861 (25)	10 420	366 736		
11	848 (1)	9 503	328 498	3.5	19 743
12	846 (1)	9 313	318 707	3.2	18 686
13	843 (1)	9 204	312 565	3.0	18 451
14	839 (1)	9 079	305 622	1.9	18 327
15	839 (1)	8 916	299 439	2.2	18 265
16	837 (1)	8 850	295 387	2.0	18 223
				3.3	18 074
					1.0

注) ()内数値は、休校等の学校数で内数である。

表10 地域・設置者別学校数

(単位：校、%)

区 分	平成6年度		11	12	13	14	15	16	構成比	
	年 度	構成比							16	構成比
総 数	861	100.0	848	846	843	839	839	837	100.0	
(地域別)										
区 部	585	67.9	568	567	562	558	557	555	66.3	
市 部	248	28.8	254	253	255	256	257	258	30.8	
郡 部	10	1.2	8	8	8	8	8	7	0.8	
島 部	18	2.1	18	18	18	17	17	17	2.0	
(設置者別)										
国 立	8	0.9	8	7	7	7	7	7	0.8	
公 立	666	77.4	661	660	657	653	653	651	77.8	
私 立	187	21.7	179	179	179	179	179	179	21.4	
	(25)	(2.9)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(0.1)	

注) ()内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 学級数

学級数は、8,850学級(単式学級8,534学級、複式学級13学級、75条学級303学級)で前年度より66学級(0.7%)減少した。

設置者別でみると、私立が2,049学級で前年度より18学級(0.9%)増加し、公立が6,717学級で84学級(1.2%)減少した。国立は84学級で前年度と同数である。

収容人員別では、1学級31人~35人の学級が3,124学級(構成比35.3%)と最も多く、次いで、36人~40人の学級が2,989学級(同33.8%)、26人~30人の学級が980学級(同11.1%)の順となり、この3区分で全体の80.1%を占める。

1学級当たりの生徒数は、33.4人で、前年度より0.2人減少した。(表11、表12、図6)

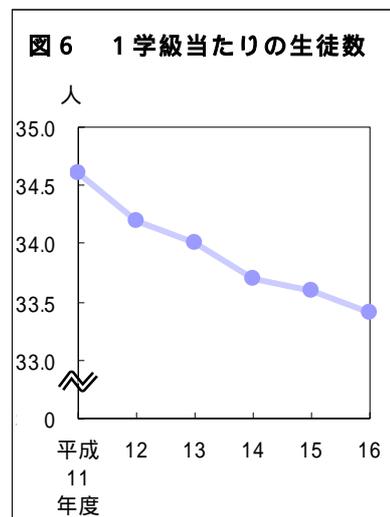


表 11 設置者別学級数

(単位：学級、%)

区分	平成6年度	11	12	13	14	15	16
総数	10 420	9 503	9 313	9 204	9 079	8 916	8 850
国立	93	93	84	84	84	84	84
公立	8 305	7 371	7 195	7 087	6 953	6 801	6 717
私立	2 022	2 039	2 034	2 033	2 042	2 031	2 049
対前年度増減率	3.0	2.2	2.0	1.2	1.4	1.8	0.7

表 12 収容人員別学級数（設置者別）

(単位：学級)

区分	総数	12人以下	13～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46人以上
総数	8 850	457	128	280	980	3 124	2 989	660	232
国立	85	1	3	-	-	8	33	40	-
公立	6 716	352	42	206	865	2 863	2 382	6	-
私立	2 049	104	83	74	115	253	574	614	232

(3) 生徒数

生徒数は、295,387人で前年度より4,052人(1.4%)減少し、昭和61年度の532,584人から18年連続して減少している。

地域別にみると、区部が191,549人で前年度より2,947人(1.5%)、市部が101,488人で1,022人(1.0%)、郡部が1,614人で47人(2.8%)、島部が736人で36人(4.7%)減少した。

設置者別では、私立が74,629人で前年度より297人(0.4%)増加したが、国立が3,249人で4人(0.1%)、公立が217,509人で4,345人(2.0%)減少した。

中学生総数に占める私立学校生徒数の割合は、前年度より0.5ポイント上昇して25.3%となった。

75学級の生徒数は、1,864人で前年度より65人(3.6%)、10年前の平成6年度より464人増加した。(表13、表14、付表2)

表 13 地域・設置者別生徒数

(単位：人、%)

区分	平成6年度		11		12	13	14	15	16	
	数	構成比	数	構成比					数	構成比
総数	366 736	100.0	328 498	100.0	318 707	312 565	305 622	299 439	295 387	100.0
(男女別)										
男	184 504	50.3	165 589	50.4	160 630	157 365	153 799	150 463	148 584	50.3
女	182 232	49.7	162 909	49.6	158 077	155 200	151 823	148 976	146 803	49.7
(地域別)										
区部	241 996	66.0	215 392	65.6	208 151	203 442	198 750	194 496	191 549	64.8
市部	120 192	32.8	110 086	33.5	107 665	106 381	104 306	102 510	101 488	34.4
郡部	3 335	0.9	1 990	0.6	1 892	1 827	1 768	1 661	1 614	0.5
島部	1 213	0.3	1 030	0.3	999	915	798	772	736	0.2
(設置者別)										
国立	3 589	1.0	3 629	1.1	3 271	3 261	3 250	3 253	3 249	1.1
公立	282 637	77.1	246 761	75.1	238 915	233 593	227 713	221 854	217 509	73.6
私立	80 510	22.0	78 108	23.8	76 521	75 711	74 659	74 332	74 629	25.3

表 14 公立・私立別 7 5 条学級のある学校数、学級数、生徒数

(単位：校、学級、人)

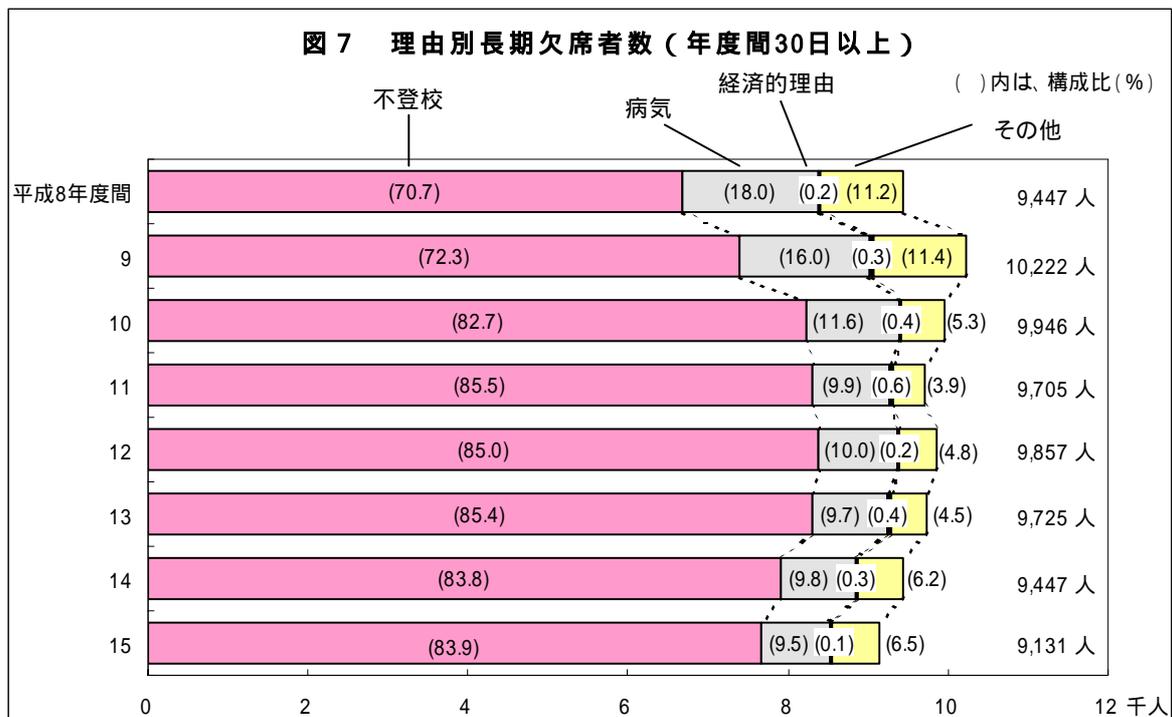
年 度	学 校 数			学 級 数			生 徒 数		
	公 立	私 立	合 計	公 立	私 立	合 計	公 立	私 立	合 計
平成 6 年度	174	173	1	278	272	6	1 400	1 330	70
11	140	139	1	245	237	8	1 432	1 356	76
12	144	143	1	266	258	8	1 555	1 466	89
13	144	143	1	273	264	9	1 645	1 541	104
14	144	143	1	286	277	9	1 758	1 652	106
15	146	145	1	283	274	9	1 799	1 693	106
16	148	147	1	303	294	9	1 864	1 757	107

(4) 長期欠席者数 (平成 15 年度間)

平成 15 年度間に 30 日以上欠席した生徒は、9,131 人で前年度間より 316 人 (3.3%) 減少した。理由別内訳は、不登校が 7,661 人で前年度間より 256 人 (3.2%)、病気が 868 人で 56 人 (6.1%)、経済的理由が 13 人で 12 人 (48.0%) 減少し、その他が 589 人で 8 人 (1.4%) 増加した。

不登校を構成比でみると、前年度間より 0.1 ポイント上昇し 83.9% となった。

生徒総数 (299,439 人) からみると、長期欠席者は 32.8 人に 1 人、不登校は 39.1 人に 1 人、病気は 345.0 人に 1 人の割合となった。(図 7、統計表 3-4-2)



(5) 教員数(本務者)

教員数は、18,074人で前年度より149人(0.8%)減少した。

男女別では、男が10,578人で前年度より45人(0.4%)、女が7,496人で104人(1.4%)減少した。教員数に占める女性教員の割合は、前年度より0.2ポイント低下し41.5%となった。

設置者別では、国立が163人で前年度より1人(0.6%)、公立が14,174人で137人(1.0%)、私立が3,737人で11人(0.3%)減少した。

教員1人当たりの生徒数は、前年度より0.1人減少し16.3人となった。(表15、図8)

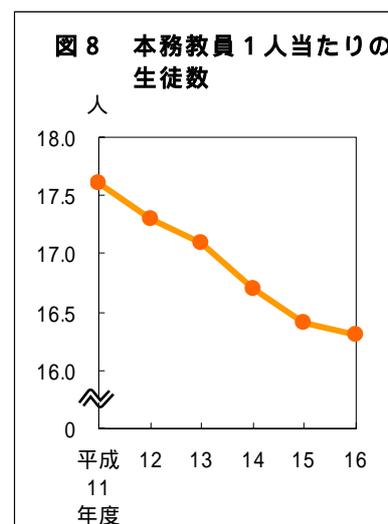


表15 男女・設置者別教員数(本務者)

(単位：人、%)

区分	平成6年度	11	12	13	14	15	16
総数	19 743	18 686	18 451	18 327	18 265	18 223	18 074
(男女別)							
男	11 714	10 858	10 748	10 678	10 646	10 623	10 578
女	8 029	7 828	7 703	7 649	7 619	7 600	7 496
(設置者別)							
国立	185	185	168	168	167	164	163
公立	15 970	14 739	14 508	14 415	14 407	14 311	14 174
私立	3 588	3 762	3 775	3 744	3 691	3 748	3 737
女性教員数の割合	40.7	41.9	41.7	41.7	41.7	41.7	41.5

4 高等学校

〔全日制課程・定時制課程〕

(1) 学校数

学校数は、445校で前年度より7校(1.5%)減少した。

地域別にみると、区部322校、市部115校、郡部1校、島部7校となった。

設置者別では、公立が201校で前年度より7校(3.4%)減少し、国立が6校、私立が238校で前年度と同数である。

課程別では、全日制課程のみの設置校が328校で前年度より6校(1.8%)、定時制課程のみの設置校が10校で1校(9.1%)減少し、全日制課程と定時制課程の両方を設置する併置校は107校で前年度と同数である。

学校1校当たり生徒数は、730.7人で前年度より1.4人増加した。(表17、図9、統計表4-1)

表16 高等学校数、生徒数(本科)、教員数(本務者)の推移

(単位：校、人、%)

年度	学校数	生徒数 (本科)	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率
平成6年度	465 (7)	430 094	3.7	22 103	1.4
11	458 (1)	364 531	1.3	20 425	0.8
12	458 (1)	358 824	1.6	20 205	1.1
13	457 (1)	349 813	2.5	20 006	1.0
14	456 (2)	338 051	3.4	19 708	1.5
15	452 (2)	329 659	2.5	19 445	1.3
16	445 (2)	325 178	1.4	19 291	0.8

注) ()内数値は、休校等の学校数で内数である。

図9 学校1校当たりの生徒数

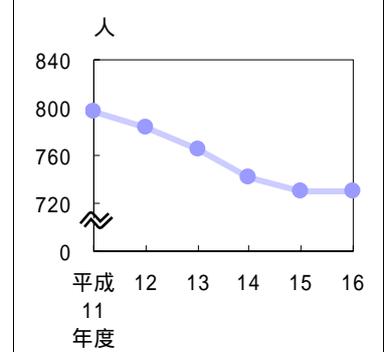


表17 地域・設置者別学校数

(単位：校、%)

区分	平成6年度		11	12	13	14	15	16	構成比
	学校数	構成比							
総数	465	100.0	458	458	457	456	452	445	100.0
(地域別)									
区部	338	72.7	331	331	331	330	326	322	72.4
市部	117	25.2	118	118	118	118	118	115	25.8
郡部	3	0.6	2	2	1	1	1	1	0.2
島部	7	1.5	7	7	7	7	7	7	1.6
(設置者別)									
国立	7	1.5	7	6	6	6	6	6	1.3
公立	215	46.2	214	214	213	212	208	201	45.2
私立	243	52.3	237	238	238	238	238	238	53.5
	(7)	(1.5)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(0.4)

注) ()内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数(本科)

生徒数は、325,178人で前年度より4,481人(1.4%)減少し、平成元年度の543,166人から15年連続して減少している。

地域別にみると、区部が229,209人で前年度より2,634人(1.1%)、市部が94,550人で1,838人(1.9%)、島部が803人で19人(2.3%)減少し、郡部が616人で10人(1.7%)増加した。

設置者別では、国立が3,473人で前年度より10人(0.3%)増加し、公立が139,699人で2,346人(1.7%)、私立が182,006人で2,145人(1.2%)減少した。

課程別では、全日制が311,205人で前年度より4,754人(1.5%)減少し、定時制は13,973人で273人(2.0%)増加した。

学科別では、普通科が280,250人(構成比86.2%)で最も多く、次いで工業科19,144人(同5.9%)、商業科が13,153人(同4.0%)の順となり、この3区分で全体の96.1%を占める。

入学者は、110,238人で前年度より1,041人(0.9%)減少した。また、入学者数のうち他県所在の中学校卒業者は13,665人で493人(3.5%)減少し、入学者に占める割合は前年度より0.3ポイント低下の12.4%となった。(表18、表19、表20、図10、統計表4-6、付表3)

表18 男女・地域・設置者別生徒数(本科)

(単位：人、%)

区分	平成6年度	構成比	11	構成比	12	13	14	15	16	構成比
総数	430 094	100.0	364 531	100.0	358 824	349 813	338 051	329 659	325 178	100.0
(男女別)										
男	207 495	48.2	178 046	48.8	176 209	172 009	166 691	163 052	161 049	49.5
女	222 599	51.8	186 485	51.2	182 615	177 804	171 360	166 607	164 129	50.5
(地域別)										
区部	311 633	72.5	261 188	71.7	256 304	247 972	238 661	231 843	229 209	70.5
市部	116 262	27.0	101 657	27.9	100 862	100 262	97 871	96 388	94 550	29.1
郡部	1 183	0.3	665	0.2	648	633	624	606	616	0.2
島部	1 016	0.2	1 021	0.3	1 010	946	895	822	803	0.2
(設置者別)										
国立	3 996	0.9	3 847	1.1	3 464	3 437	3 453	3 463	3 473	1.1
公立	182 791	42.5	156 571	43.0	154 939	151 578	146 264	142 045	139 699	43.0
私立	243 307	56.6	204 113	56.0	200 421	194 798	188 334	184 151	182 006	56.0

表19 学科別生徒数(平成16年度)

(単位：人、%)

学科	実数	構成比
総数	325 178	100.0
普通	280 250	86.2
農業	2 777	0.9
工業	19 144	5.9
商業	13 153	4.0
水産	112	0.0
家庭	1 730	0.5
看護	134	0.0
情報	118	0.0
福祉	-	-
その他	4 750	1.5
総合学科	3 010	0.9

図10 設置者・男女別生徒数(本科)の構成比(平成16年度)

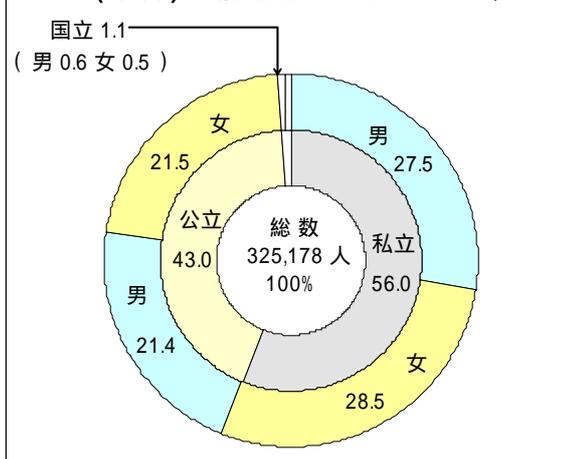


表20 入学志願者、入学者等の推移

(単位：人、%)

年度	入学志願者数	入学者数	対前年度増減率	入学者のうち他県所在の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者	構成比
平成6年度	304 133	142 288	2.9	21 692	15.2
11	256 120	124 360	1.1	16 536	13.3
12	249 158	120 436	3.2	15 844	13.2
13	238 482	116 053	3.6	14 566	12.6
14	228 779	112 344	3.2	14 447	12.9
15	232 285	111 279	0.9	14 158	12.7
16	228 558	110 238	0.9	13 665	12.4

14 結果の概要：高等学校

(3) 教員数(本務者)

教員数は、19,291人で前年度より154人(0.8%)減少した。

男女別にみると、男が13,680人で前年度より160人(1.2%)減少し、女は5,611人で6人(0.1%)増加した。教員数に占める女性教員の割合は29.1%で、前年度より0.3ポイント、10年前の平成6年度より3.2ポイント上昇した。

設置者別では、国立が235人で前年度と同数、公立が10,035人で156人(1.5%)減少し、私立が9,021人で2人(0.0%)増加した。

教員1人当たりの生徒数は、前年度より0.1人減少し16.9人となった。(表21、図11)

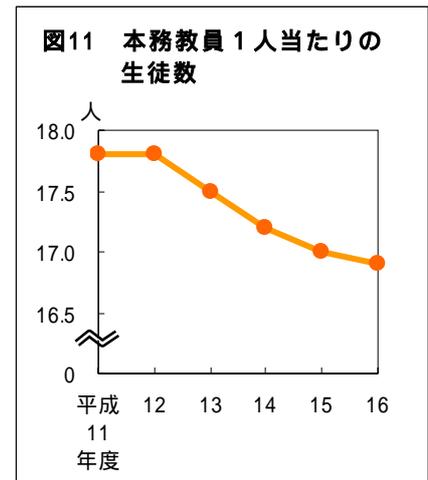


表21 男女・設置者別教員数(本務者)

(単位：人、%)

区分	平成6年度	11	12	13	14	15	16
総数	22 103	20 425	20 205	20 006	19 708	19 445	19 291
(男女別)							
男	16 382	14 769	14 536	14 370	14 073	13 840	13 680
女	5 721	5 656	5 669	5 636	5 635	5 605	5 611
(設置者別)							
国立	253	258	240	238	237	235	235
公立	11 992	10 854	10 756	10 595	10 374	10 191	10 035
私立	9 858	9 313	9 209	9 173	9 097	9 019	9 021
女性教員の割合	25.9	27.7	28.1	28.2	28.6	28.8	29.1

〔通信制課程〕

学校数は、10校(独立校3校、併置校7校)で前年度と同数である。

生徒数は、21,308人(男11,707人、女9,601人)で前年度より1,391人(6.1%)減少した。

設置者別にみると、公立が1,476人で前年度より70人(4.5%)、私立が19,832人で1,321人(6.2%)減少した。

年齢別では、「17歳」が6,274人(構成比29.4%)と最も多く、次いで「16歳」が4,903人(同23.0%)、「15歳」が3,222人(同15.1%)の順となり、この3区分で全体の67.6%を占める。

教員数は、321人で前年度より7人(2.1%)減少した。(表22、統計表4-11、4-12)

表22 高等学校(通信制課程)数、生徒数、教員数(本務者)の推移

(単位：校、人)

年度	学校数		生徒数	教員数	
	公立	私立		公立	私立
平成6年度	8 (1)	2 6 (1)	28 732	277	246
11	8	2 6	27 116	290	256
12	10	2 8	26 731	321	287
13	10	2 8	25 516	317	283
14	10	2 8	24 689	317	283
15	10	2 8	22 699	328	294
16	10	2 8	21 308	321	287

注 1) 国立の学校はない。

2) ()内数値は、休校等の学校数で内数である。

5 盲学校・聾学校・養護学校

(1) 学校数

学校数は、養護学校が前年度より1校(1.8%)減少して54校になり、盲学校5校、聾学校9校は前年度と同数である。

10年前の平成6年度と比べると、養護学校が1校増加し、聾学校が1校減少、盲学校が同数となった。(表23)

表23 盲・聾・養護学校数、学級数、在学者数、教員数(本務者)の推移

(単位：校、学級、人、%)

年 度	学 校 数	学 級 数	在 学 者 数	対 前 年 度	教 員 数	対 前 年 度	教 員 1 人	
				増 減 率	(本 務 者)	増 減 率	当 た り	
盲 学 校	平 成 6 年 度	5 (4)	109	467	3.7	254	3.4	1.8
	11	5 (4)	112	459	2.5	271	3.4	1.7
	12	5 (4)	112	457	0.4	267	1.5	1.7
	13	5 (4)	114	448	2.0	271	1.5	1.7
	14	5 (4)	113	450	0.4	277	2.2	1.6
	15	5 (4)	112	450	0.0	268	3.2	1.7
	16	5 (4)	112	447	0.7	264	1.5	1.7
聾 学 校	平 成 6 年 度	10 (9)	173	749	4.0	403	0.5	1.9
	11	10 (9)	167	679	0.7	404	2.5	1.7
	12	10 (9)	167	692	1.9	402	0.5	1.7
	13	10 (9)	169	699	1.0	404	0.5	1.7
	14	9 (8)	164	680	2.7	397	1.7	1.7
	15	9 (8)	157	664	2.4	389	2.0	1.7
	16	9 (8)	161	656	1.2	391	0.5	1.7
養 護 学 校	平 成 6 年 度	53 (48)	1 473	6 311	1.9	3 346	1.1	1.9
	11	55 (50)	1 597	6 507	2.1	3 702	2.0	1.8
	12	55 (50)	1 636	6 599	1.4	3 782	2.2	1.7
	13	55 (50)	1 676	6 955	5.4	3 905	3.3	1.8
	14	55 (50)	1 718	7 185	3.3	3 999	2.4	1.8
	15	55 (50)	1 762	7 439	3.5	4 133	3.4	1.8
	16	54 (49)	1 801	7 745	4.1	4 200	1.6	1.8

注) () 内数値は、公立の学校数で内数である。

(2) 在学者数

在学者数は、養護学校が7,745人で前年度より306人(4.1%)増加し、聾学校が656人で8人(1.2%)、盲学校が447人で3人(0.7%)減少した。

10年前の平成6年度と比べると、養護学校が1,434人(22.7%)増加し、盲学校が20人(4.3%)、聾学校が93人(12.4%)減少した。

養護学校の障害種別在学者数の構成比をみると、「知的障害」が58.2%と最も高く、次いで、「重複障害」24.0%、「肢体不自由」15.0%の順となった。「重複障害」の中では、「知的障害と肢体不自由」が最も高く15.0%となった。(表23、表24)

表 24 養護学校障害種別在学者数の推移及び構成比

(単位：人、%)

年 度	総 数	知的障害	肢体不自由	病 弱 ・ 身体虚弱	重複障害	知的障害と 肢体不自由	肢体不自由 と病弱・身 体虚弱	知的障害と 病弱・身体 虚弱	そ の 他
実 数									
平成 6 年度	6 311	3 138	1 114	173	1 886	897	230	487	272
11	6 507	3 272	1 181	205	1 849	870	145	550	284
12	6 599	3 380	1 169	180	1 870	889	144	540	297
13	6 955	3 714	1 160	192	1 889	897	153	524	315
14	7 185	3 966	1 161	175	1 883	988	102	449	344
15	7 439	4 262	1 177	148	1 852	942	136	418	356
16	7 745	4 510	1 164	209	1 862	1 162	107	257	336
構 成 比									
平成 6 年度	100.0	49.7	17.7	2.7	29.9	14.2	3.6	7.7	4.3
11	100.0	50.3	18.1	3.2	28.4	13.4	2.2	8.5	4.4
12	100.0	51.2	17.7	2.7	28.3	13.5	2.2	8.2	4.5
13	100.0	53.4	16.7	2.8	27.2	12.9	2.2	7.5	4.5
14	100.0	55.2	16.2	2.4	26.2	13.8	1.4	6.2	4.8
15	100.0	57.3	15.8	2.0	24.9	12.7	1.8	5.6	4.8
16	100.0	58.2	15.0	2.7	24.0	15.0	1.4	3.3	4.3

(3) 教員数(本務者)

教員数は、養護学校が4,200人で前年度より67人(1.6%)、聾学校が391人で2人(0.5%)増加し、盲学校が264人で4人(1.5%)減少した。教員数に占める女性教員の割合は、盲学校が54.2%、聾学校が60.6%、養護学校が57.1%となった。

教員1人当たりの在学者数は、盲学校1.7人、聾学校1.7人、養護学校1.8人となった。

(表23、表25)

表 25 男女別教員数(本務者)の推移

(単位：人、%)

年 度	盲学校				聾学校				養護学校			
	男	女	構成比		男	女	構成比		男	女	構成比	
平成 6 年度	254	140	114	44.9	403	206	197	48.9	3 346	1 534	1 812	54.2
11	271	141	130	48.0	404	180	224	55.4	3 702	1 599	2 103	56.8
12	267	138	129	48.3	402	182	220	54.7	3 782	1 639	2 143	56.7
13	271	130	141	52.0	404	179	225	55.7	3 905	1 686	2 219	56.8
14	277	132	145	52.3	397	165	232	58.4	3 999	1 742	2 257	56.4
15	268	125	143	53.4	389	157	232	59.6	4 133	1 792	2 341	56.6
16	264	121	143	54.2	391	154	237	60.6	4 200	1 800	2 400	57.1

6 幼稚園

(1) 幼稚園数

幼稚園数は、1,108園で前年度より9園(0.8%)減少した。

地域別にみると、区部が792園で前年度より5園(0.6%)、市部が312園で4園(1.3%)減少し、郡部は4園で前年度と同数である。

設置者別では、公立が228園で前年度より1園(0.4%)、私立が878園で8園(0.9%)減少し、国立の2園は前年度と同数である。

休園等は、35園(公立8園、私立27園)となった。(表26、表27)

表26 幼稚園数、学級数、園児数、教員数(本務者)の推移

(単位：園、学級、人、%)

年 度	園 数	学 級 数	園 児 数	対前年度 増減率	教 員 数 (本 務 者)	対前年度 増減率
平成6年度	1 254 (54)	6 810	169 084	3.7	10 160	0.1
11	1 182 (47)	6 777	168 779	1.2	10 285	0.3
12	1 165 (54)	6 791	170 867	1.2	10 385	1.0
13	1 150 (50)	6 839	171 000	0.1	10 397	0.1
14	1 128 (41)	6 879	175 600	2.7	10 430	0.3
15	1 117 (41)	6 869	176 905	0.7	10 496	0.6
16	1 108 (35)	6 896	179 026	1.2	10 612	1.1

注) ()内数値は、休園等の幼稚園数で内数である。

表27 地域・設置者別幼稚園数

(単位：園、%)

区 分	平成6年度		11	12	13	14	15	16	構成比
	数	構成比							
総 数	1 254 (54)	100.0 (4.3)	1 182 (47)	1 165 (54)	1 150 (50)	1 128 (41)	1 117 (41)	1 108 (35)	100.0 (3.6)
(地域別)									
区 部	907	72.3	850	834	823	806	797	792	71.5
市 部	342	27.3	328	327	323	318	316	312	28.2
郡 部	5	0.4	4	4	4	4	4	4	0.4
島 部	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(設置者別)									
国 立	2	0.2	2	2	2	2	2	2	0.2
公 立	283 (7)	22.6 (0.6)	257 (8)	249 (13)	244 (13)	234 (11)	229 (11)	228 (8)	20.6 (0.7)
私 立	969 (47)	77.3 (3.7)	923 (39)	914 (41)	904 (37)	892 (30)	886 (30)	878 (27)	79.2 (2.4)

注) ()内数値は、休園等の幼稚園数で内数である。

(2) 学級数

学級数は、6,896学級で前年度より27学級(0.4%)増加した。

設置者別にみると、国立が12学級(構成比0.2%)、公立が669学級(同9.7%)、私立が6,215学級(同90.1%)となった。

1学級当たりの園児数は、26.0人で前年度より0.2人増加した。(表28、図12)

図12 1学級当たりの園児数

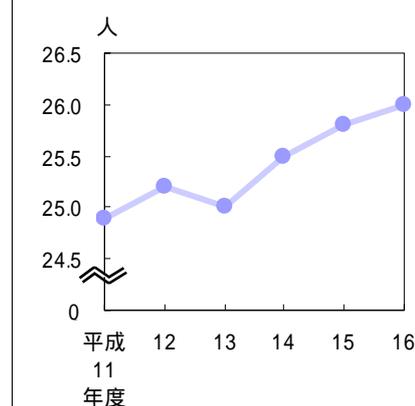


表 28 設置者別学級数

(単位：学級、%)

区分	平成6年度	11	12	13	14	15	16
総数	6 810	6 777	6 791	6 839	6 879	6 869	6 896
国立	13	13	13	12	13	12	12
公立	778	703	682	671	667	668	669
私立	6 019	6 061	6 096	6 156	6 199	6 189	6 215
対前年度増減率	0.8	0.9	0.2	0.7	0.6	0.1	0.4

(3) 園児数

園児数は、179,026人で前年度より2,121人(1.2%)増加した。

地域別にみると、区部113,622人、市部64,870人、郡部534人となった。

設置者別では、国立が392人で前年度より4人(1.0%)、公立が15,630人で208人(1.3%)、私立が163,004人で1,909人(1.2%)増加し、私立が全園児数の91.1%を占める。

年齢別では、4歳児が63,921人で前年度より256人(0.4%)減少し、3歳児が50,604人で1,266人(2.6%)、5歳児が64,501人で1,111人(1.8%)増加した。

当該年度新規入園児数は、67,933人で前年度より404人(0.6%)増加した。

就園率(小学校1学年児童数に対する幼稚園修了園児数の割合)は、65.4%で前年度より0.2ポイント低下した。(表29、表30、表31、表32、図13)

表 29 男女・地域・設置者別園児数

(単位：人、%)

区分	平成6年度		11	12	13	14	15	16	構成比
	人数	構成比							
総数	169 084	100.0	168 779	170 867	171 000	175 600	176 905	179 026	100.0
(男女別)									
男	85 733	50.7	85 534	86 612	86 708	89 275	89 843	90 938	50.8
女	83 351	49.3	83 245	84 255	84 292	86 325	87 062	88 088	49.2
(地域別)									
区部	109 768	64.9	107 417	108 862	108 623	111 459	112 390	113 622	63.5
市部	58 595	34.7	60 798	61 443	61 815	63 588	63 978	64 870	36.2
郡部	721	0.4	564	562	562	553	537	534	0.3
島部	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(設置者別)									
国立	386	0.2	395	390	379	384	388	392	0.2
公立	15 229	9.0	15 355	15 284	15 166	15 374	15 422	15 630	8.7
私立	153 469	90.8	153 029	155 193	155 455	159 842	161 095	163 004	91.1

表 30 年齢別園児数及び構成比

(単位：人、%)

区分	平成6年度	11	12	13	14	15	16
実数							
総数	169 084	168 779	170 867	171 000	175 600	176 905	179 026
3歳児	37 485	43 062	45 378	46 569	48 960	49 338	50 604
4歳児	63 747	64 300	61 066	63 107	63 093	64 177	63 921
5歳児	67 852	61 417	64 423	61 324	63 547	63 390	64 501
構成比							
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3歳児	22.2	25.5	26.6	27.2	27.9	27.9	28.3
4歳児	37.7	38.1	35.7	36.9	35.9	36.3	35.7
5歳児	40.1	36.4	37.7	35.9	36.2	35.8	36.0

表 31 当該年度年齢別新規入園児数及び構成比

(単位：人、%)

区 分	平成6年度	11	12	13	14	15	16
実 数							
新規入園児総数	68 462	66 254	67 229	67 575	68 342	67 529	67 933
3歳から入園	37 485	43 062	45 378	46 204	48 208	48 814	49 896
4歳から入園	29 014	21 311	19 896	19 503	18 263	17 047	16 301
5歳から入園	1 963	1 881	1 955	1 868	1 871	1 668	1 736
構 成 比							
新規入園児総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3歳から入園	54.8	65.0	67.5	68.4	70.5	72.3	73.4
4歳から入園	42.4	32.2	29.6	28.9	26.7	25.2	24.0
5歳から入園	2.9	2.8	2.9	2.8	2.7	2.5	2.6

注) 新規入園児とは、当該年度4月1日から5月1日に入園した者

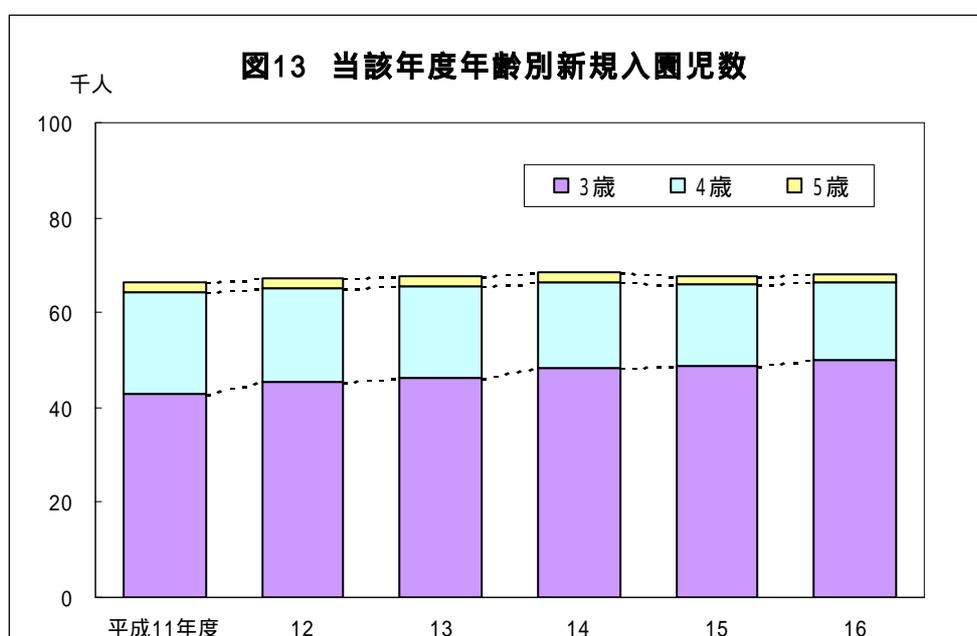


表 32 幼稚園就園率の推移

(単位：人、%)

年 次	小学校1年生 児 童 数	幼 稚 園 修 了 園 児 数	就 園 率
平 成 6 年	99 708	69 508	69.7
11	91 402	60 652	66.4
12	93 053	61 255	65.8
13	97 296	64 492	66.3
14	93 848	61 186	65.2
15	96 889	63 555	65.6
16	96 959	63 376	65.4

(参考) 年齢別幼児人口

(単位：人)

年 齢	平成14年 1月1日	平成15年 1月1日	平成16年 1月1日
5 歳	96 069	96 427	98 118
4 歳	96 201	97 879	97 521
3 歳	97 294	97 222	99 882
2 歳	96 984	99 670	98 062
1 歳	99 576	98 338	99 473
0 歳	95 429	96 586	94 619

注1) 幼稚園就園率 = $\frac{\text{幼稚園修了園児数}}{\text{小学校1年生児童数}} \times 100$

2) 小学校1年生児童数は各年5月1日在籍者、幼稚園修了園児数は各年3月修了者

資料：「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」
(総務局統計部人口統計課)

(4) 教員数、教育補助員数（本務者）

教員数は、10,612人で前年度より116人（1.1%）増加した。

男女別にみると、男が664人で前年度より23人（3.6%）、女は9,948人で93人（0.9%）増加した。女性教員の総数に占める割合は、93.7%で前年度より0.2ポイント低下した。

設置者別では、国立が17人で前年度と同数、私立が9,647人で135人（1.4%）増加し、公立が948人で19人（2.0%）減少した。

教員1人当たりの園児数は、16.9人で前年度と同数である。

教育補助員（教育活動の補助にあっている者）は、455人で前年度より15人（3.2%）減少した。（表33、図14）



表33 男女・設置者別教員数（本務者）及び教育補助員数（本務者）

(単位：人、%)

区分	平成6年度	11	12	13	14	15	16
総数	10 160	10 285	10 385	10 397	10 430	10 496	10 612
(男女別)							
男	615	603	621	632	633	641	664
女	9 545	9 682	9 764	9 765	9 797	9 855	9 948
(設置者別)							
国立	16	15	17	16	16	17	17
公立	1 243	1 076	1 035	1 006	980	967	948
私立	8 901	9 194	9 333	9 375	9 434	9 512	9 647
女性教員の割合	93.9	94.1	94.0	93.9	93.9	93.9	93.7
教育補助員	415	381	386	407	462	470	455

7 専修学校

(1) 学校数

学校数は、466校で前年度より3校(0.6%)増加した。

地域別にみると、区部が394校で前年度より1校(0.3%)減少し、市部が72校で4校(5.9%)増加した。

設置者別では、国立が4校で前年度より3校(42.9%)、公立が10校で2校(16.7%)減少し、私立が452校で前年度より8校(1.8%)増加した。

休校等は、私立26校で前年度より6校(30.0%)増加した。(表34、表35)

表34 専修学校数、生徒数、教員数の推移

(単位：校、人、%)

年度	学校数	対前年度 増減率	生徒数	対前年度 増減率	教員数	本務者	対前年度 増減率	兼務者	対前年度 増減率
平成6年度	454	0.7	246 462	6.8	26 941	8 481	0.7	18 460	1.8
11	462	0.9	199 835	2.5	27 116	8 111	0.9	19 005	1.6
12	465	0.6	196 457	1.7	26 748	7 949	2.0	18 799	1.1
13	460	1.1	195 409	0.5	26 592	8 038	1.1	18 554	1.3
14	465	1.1	196 126	0.4	26 604	8 226	2.3	18 378	0.9
15	463	0.4	194 544	0.8	26 474	8 173	0.6	18 301	0.4
16	466	0.6	193 273	0.7	26 746	8 231	0.7	18 515	1.2

表35 地域・設置者別学校数の推移

(単位：校)

区分	平成6年度	11	12	13	14	15	16
総数	454 (9)	462 (23)	465 (23)	460 (21)	465 (25)	463 (20)	466 (26)
(地域別)							
区部	383	389	392	390	396	395	394
市部	70	73	73	70	69	68	72
郡部	1	-	-	-	-	-	-
島部	-	-	-	-	-	-	-
(設置者別)							
国立	14	12	12	9	8	7	4
公立	12	14	14	13	13	12	10
私立	428 (9)	436 (23)	439 (23)	438 (21)	444 (25)	444 (20)	452 (26)

注) ()内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数

生徒数は、193,273人で前年度より1,271人(0.7%)減少した。

男女別にみると、男が94,750人で前年度より127人(0.1%)、女が98,523人で1,144人(1.1%)減少した。

地域別では、区部が166,390人で前年度より1,130人(0.7%)、市部が26,883人で141人(0.5%)減少した。

設置者別では、国立が271人で前年度より714人(72.5%)、公立が2,304人で480人(17.2%)、私立が190,698人で77人(0.0%)減少した。

課程別では、専門課程が176,308人で前年度より155人(0.0%)、高等課程が4,904人で768人(13.5%)、一般課程が12,061人で348人(2.8%)減少した。課程別の構成比を前年度と比較してみると、専門課程が91.2%で前年度から0.5ポイント上昇し、高等課程が2.5%で0.4ポイント、一般課程が6.2%で0.2ポイント低下した。

分野別では、「文化・教養関係」が63,360人(構成比32.8%)で最も多く、次いで「医療関係」32,129人(同16.6%)、「工業関係」28,737人(同14.9%)の順となった。前年度と比べると、「農業関係」、「医療関係」、「衛生関係」、「教育・社会福祉関係」、「文化・教養関係」が増加し、「工業関係」、「商業実務関係」、「服飾・家政関係」が減少した。

本年度の生徒数の多い学科〔上位5位〕をみると、「美容」の14,091人(構成比7.3%)が最も多く、次いで「デザイン」14,057人(同7.3%)、「和洋裁」9,578人(同5.0%)、「受験・補習」9,372人(同4.8%)、「情報処理」9,307人(同4.8%)の順になった。(表37、表38、図15、統計表7-6)

表36 男女・地域・設置者別生徒数の推移

(単位：人)

区分	平成6年度	11	12	13	14	15	16
総数	246 462	199 835	196 457	195 409	196 126	194 544	193 273
(男女別)							
男	131 476	104 185	100 112	97 717	96 671	94 877	94 750
女	114 986	95 650	96 345	97 692	99 455	99 667	98 523
(地域別)							
区部	215 126	173 351	170 442	169 150	169 253	167 520	166 390
市部	31 311	26 484	26 015	26 259	26 873	27 024	26 883
郡部	25	-	-	-	-	-	-
島部	-	-	-	-	-	-	-
(設置者別)							
国立	1 682	1 379	1 350	1 086	1 038	985	271
公立	3 247	4 003	3 902	3 765	3 309	2 784	2 304
私立	241 533	194 453	191 205	190 558	191 779	190 775	190 698

表37 課程別生徒数の推移及び構成比

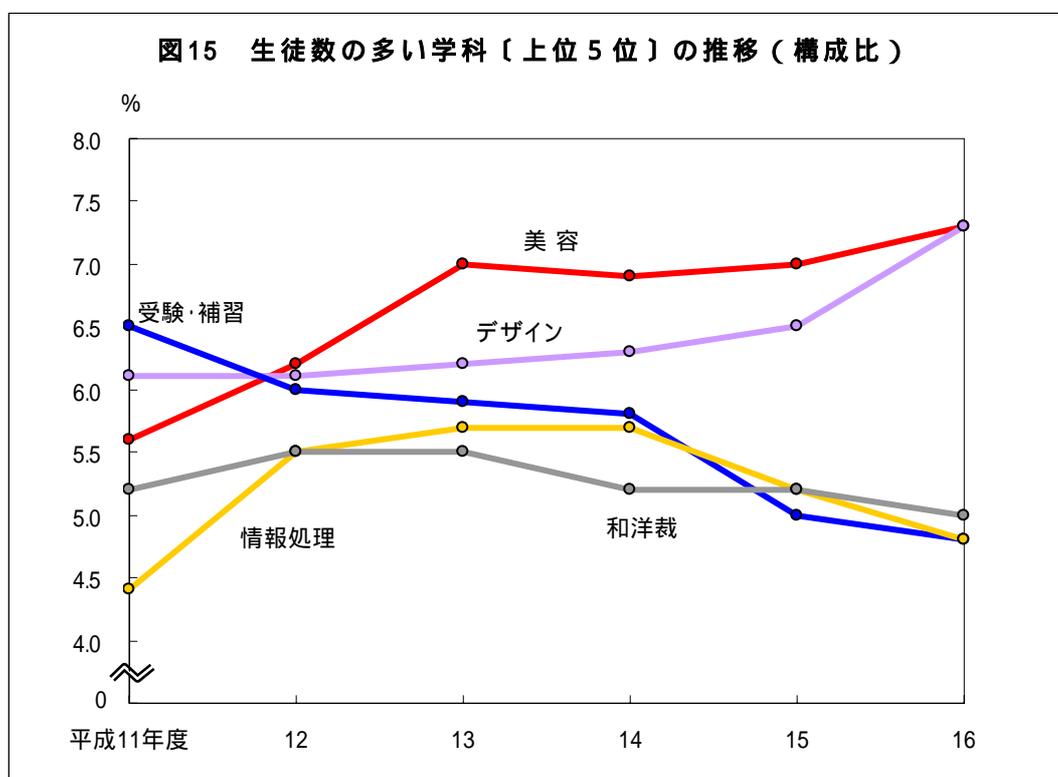
(単位：人、%)

区分	平成6年度	11	12	13	14	15	16
実数							
総数	246 462	199 835	196 457	195 409	196 126	194 544	193 273
高等課程	9 110	7 021	6 945	6 667	6 304	5 672	4 904
専門課程	214 998	176 970	175 193	174 065	175 173	176 463	176 308
一般課程	22 354	15 844	14 319	14 677	14 649	12 409	12 061
構成比							
総数	100.0						
高等課程	3.7	3.5	3.5	3.4	3.2	2.9	2.5
専門課程	87.2	88.6	89.2	89.1	89.3	90.7	91.2
一般課程	9.1	7.9	7.3	7.5	7.5	6.4	6.2

表 38 分野別生徒数の推移

(単位：人、%)

区分	平成6年度		11	12	13	14	15	16	構成比
	数	構成比							
総	246 462	100.0	199 835	196 457	195 409	196 126	194 544	193 273	100.0
工業関係	50 100	20.3	37 703	37 895	35 774	33 951	32 010	28 737	14.9
農業関係	396	0.2	1 410	1 299	1 303	1 386	472	481	0.2
医療関係	26 439	10.7	28 288	28 718	29 216	30 744	31 291	32 129	16.6
衛生関係	19 478	7.9	22 877	23 682	24 647	24 579	24 887	25 388	13.1
教育・社会福祉関係	11 486	4.7	10 737	11 559	11 728	11 862	12 586	13 718	7.1
商業実務関係	49 337	20.0	24 224	18 902	17 803	17 517	17 843	17 533	9.1
服飾・家政関係	13 727	5.6	13 155	13 566	13 765	13 350	12 842	11 927	6.2
文化・教養関係	75 499	30.6	61 441	60 836	61 173	62 737	62 613	63 360	32.8



(3) 教員数

教員数は、26,746人で前年度より272人(1.0%)増加した。

本務者・兼務者別で見ると、本務者が8,231人で58人(0.7%)、兼務者が18,515人で214人(1.2%)増加した。教員数に占める兼務者の割合は、69.2%で本務者の約2.2倍となった。(表34)

8 各種学校

(1) 学校数

学校数は、専修学校制度発足（昭和 51 年度）以来減少を続けており、本年度も 182 校で前年度より 5 校（2.7%）減少した。

地域別にみると、区部が 157 校で前年度より 5 校（3.1%）減少し、市部が 24 校、郡部が 1 校で前年度と同数である。

設置者別では、私立校のみである。（表 39、表 40）

表 39 各種学校数、生徒数、教員数の推移

（単位：校、人、%）

年 度	学 校 数	対前年度 増減率	生 徒 数	対前年度 増減率	教 員 数	本 務 者		兼 務 者	
							対前年度 増減率		対前年度 増減率
平成 6 年度	231	0.9	53 152	8.5	4 481	1 797	1.5	2 684	1.3
11	205	2.8	38 725	6.0	3 852	1 566	5.9	2 286	4.6
12	202	1.5	37 254	3.8	3 643	1 553	0.8	2 090	8.6
13	196	3.0	36 316	2.5	3 696	1 613	3.9	2 083	0.3
14	192	3.0	34 074	6.2	3 585	1 555	3.6	2 030	2.5
15	187	2.6	33 840	0.7	3 683	1 548	0.5	2 135	5.2
16	182	2.7	33 035	2.4	3 565	1 486	4.0	2 079	2.6

表 40 地域・設置者別学校数の推移

（単位：校）

区 分	平成 6 年度	11	12	13	14	15	16
総 数	231 (48)	205 (49)	202 (49)	196 (50)	192 (54)	187 (50)	182 (54)
(地域別)							
区 部	198	177	174	169	166	162	157
市 部	32	27	27	26	25	24	24
郡 部	1	1	1	1	1	1	1
島 部	-	-	-	-	-	-	-
(設置者別)							
国 立	1	1	1	1	-	-	-
公 立	-	-	-	-	-	-	-
私 立	230 (48)	204 (49)	201 (49)	195 (50)	192 (54)	187 (50)	182 (54)

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数

生徒数は、33,035 人で前年度より 805 人（2.4%）減少した。

男女別にみると、男が 15,513 人で前年度より 362 人（2.3%）、女が 17,522 人で 443 人（2.5%）減少した。

地域別にみると、区部が 29,103 人で前年度より 695 人（2.3%）、市部が 3,932 人で 110 人（2.7%）減少した。

生徒数の多い課程〔上位 5 位〕を男女別にみると、男は、「外国人学校」の 4,998 人（構成比 32.2%）が最も多く、次いで「予備校」4,763 人（同 30.7%）、「外国語」2,328 人（同 15.0%）、「はり・きゅう・あんま」258 人（同 1.7%）、「料理」128 人（同 0.8%）の順となった。

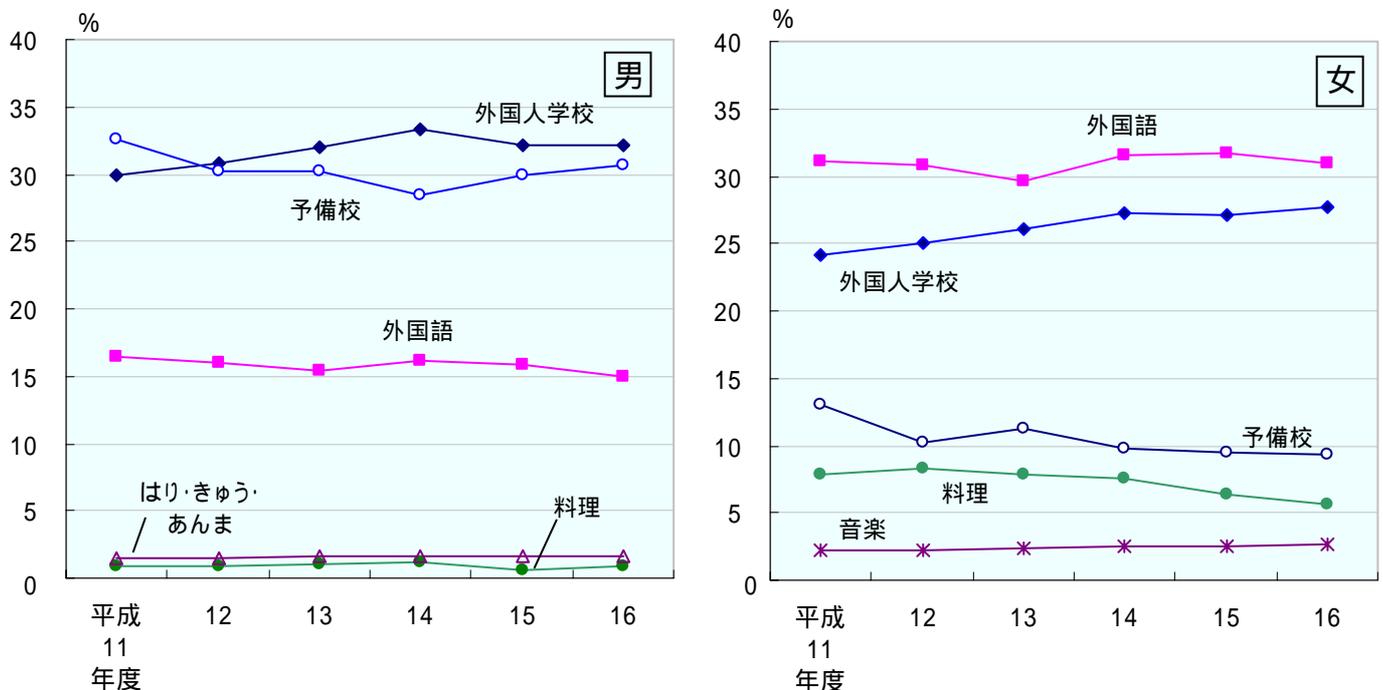
女は、「外国語」の5,436人(構成比31.0%)が最も多く、次いで「外国人学校」4,843人(同27.6%)、「予備校」1,626人(同9.3%)、「料理」996人(同5.7%)、「音楽」463人(同2.6%)の順となった。(表41、図16、統計表8-3)

表41 男女・地域・設置者別生徒数の推移

(単位：人)

区分	平成6年度	11	12	13	14	15	16
総数	53 152	38 725	37 254	36 316	34 074	33 840	33 035
(男女別)							
男	25 455	17 564	16 787	16 455	15 632	15 875	15 513
女	27 697	21 161	20 467	19 861	18 442	17 965	17 522
(地域別)							
区部	46 632	33 961	32 743	31 952	29 881	29 798	29 103
市部	6 520	4 764	4 511	4 364	4 193	4 042	3 932
郡部	-	-	-	-	-	-	-
島部	-	-	-	-	-	-	-
(設置者別)							
国立	18	18	18	10	-	-	-
公立	-	-	-	-	-	-	-
私立	53 134	38 707	37 236	36 306	34 074	33 840	33 035

図16 生徒数の多い課程〔上位5位〕の推移



(3) 教員数

教員数は、3,565人で前年度より118人(3.2%)減少した。

本務者・兼務者別でみると、本務者が1,486人で62人(4.0%)、兼務者が2,079人で56人(2.6%)減少した。教員数に占める兼務者の割合は、58.3%で本務者の約1.4倍となった。(表39)

9 卒業後の状況調査

【中学校】

(1) 卒業者数

平成16年3月の中学校卒業者は、103,452人で前年度より883人(0.8%)減少した。
男女別にみると、男が51,965人で前年度より598人(1.1%)、女が51,487人で285人(0.6%)減少した。(表42)

(2) 進学状況

高等学校等への進学者数は、100,709人(男50,538人、女50,171人)で前年度より952人(0.9%)減少した。進学率は、97.3%で前年度より0.1ポイント低下した。

課程別にみると、全日制が95,887人、定時制が2,867人、通信制が720人となった。

専修学校高等課程への進学者は、502人で前年度より49人(8.9%)減少した。進学率は、前年度と同じ0.5%となった。

専修学校一般課程等入学者のうち、専修学校一般課程入学者は、120人で前年度より49人(69.0%)増加し、各種学校は195人で29人(12.9%)減少した。

公共職業能力開発施設等入学者は、62人で前年度より4人(6.1%)減少した。(表42)

(3) 就職状況

就職者総数は、628人(就職者565人、進学しながら就職している者63人)で前年度より42人(7.2%)増加した。10年前の平成6年度からは852人(57.6%)の減少となった。

就職率は、前年度と同じ0.6%となった。

産業別でみると、第3次産業が372人(構成比59.2%)と最も多く、次いで第2次産業が204人(同32.5%)、第1次産業が13人(同2.1%)の順となった。全国の構成比と比較すると、第1次産業の割合が少なく、第3次産業の割合が多くなっている。

都内・都外地域別でみると、都内が586人、都外が42人で、都内地域が全体の93.3%を占める。

(表42、図17、図18、統計表9-3)

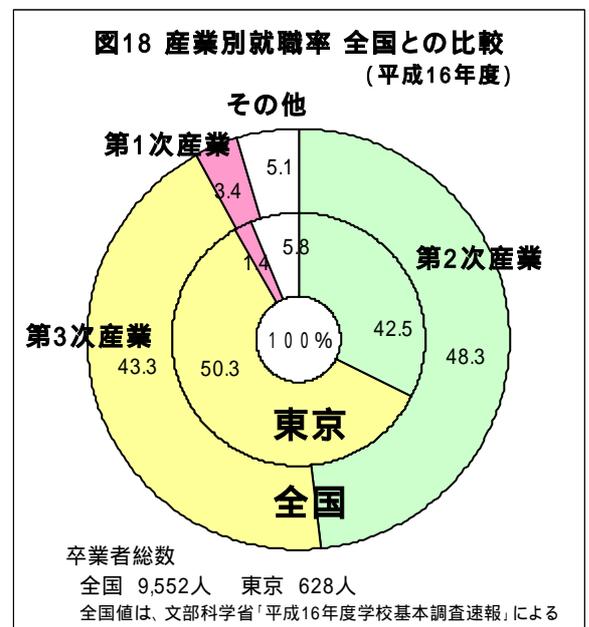
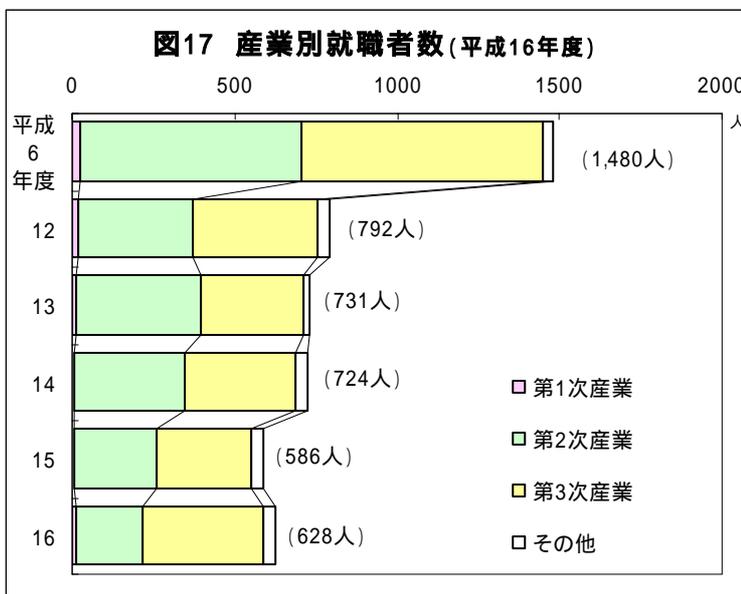


表 42 中学校卒業者の進路別推移

区分 ()は再掲		平成11年 3月	12	13	14	15	16	男	女
実 数 (人)	卒業生総数 A	116 603	113 646	109 733	105 850	104 335	103 452	51 965	51 487
	高等学校等進学者	113 215	110 523	106 689	102 716	101 661	100 709	50 538	50 171
	高等学校全日制	108 597	105 468	101 761	97 832	97 230	95 887	47 611	48 276
	高等学校定時制	2 546	2 801	2 715	2 827	2 405	2 867	1 606	1 261
	高等学校通信制	837	1 018	986	921	787	720	371	349
	その他	1 235	1 236	1 227	1 136	1 239	1 235	950	285
	専修学校高等課程進学者	765	620	645	729	551	502	256	246
	専修学校一般課程等入学者	382	360	332	338	295	315	135	180
	専修学校一般課程 各種学校	123	124	112	100	71	120	62	58
	公共職業能力開発施設等入学者	129	121	92	106	66	62	60	2
就職者 B	789	699	647	637	511	565	396	169	
上記以外の者・死亡・不詳	1 323	1 323	1 328	1 324	1 251	1 299	580	719	
(進学しながら就職している者) C	124	93	84	87	75	63	44	19	
(就職者 + 進学就職者) B+C	913	792	731	724	586	628	440	188	
構成比・進学率・入学率等 (%)	卒業生数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	高等学校等進学者	97.1	97.3	97.2	97.0	97.4	97.3	97.3	97.4
	高等学校全日制	93.1	92.8	92.7	92.4	93.2	92.7	91.6	93.8
	高等学校定時制	2.2	2.5	2.5	2.7	2.3	2.8	3.1	2.4
	高等学校通信制	0.7	0.9	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7
	その他	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.8	0.6
	専修学校高等課程進学者	0.7	0.5	0.6	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5
	専修学校一般課程等入学者	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	専修学校一般課程 各種学校	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	公共職業能力開発施設等入学者	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
	就職者 B	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.8	0.3
	上記以外の者・死亡・不詳	1.1	1.2	1.2	1.3	1.2	1.3	1.1	1.4
	(進学しながら就職している者) C	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
(就職者 + 進学しながら 就職している者) B+C	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.8	0.4	

注 1) 「その他」とは、中等教育学校後期課程、高等学校別科、高等専門学校及び盲・聾・養護学校高等部である。

【高等学校（全日制・定時制）】

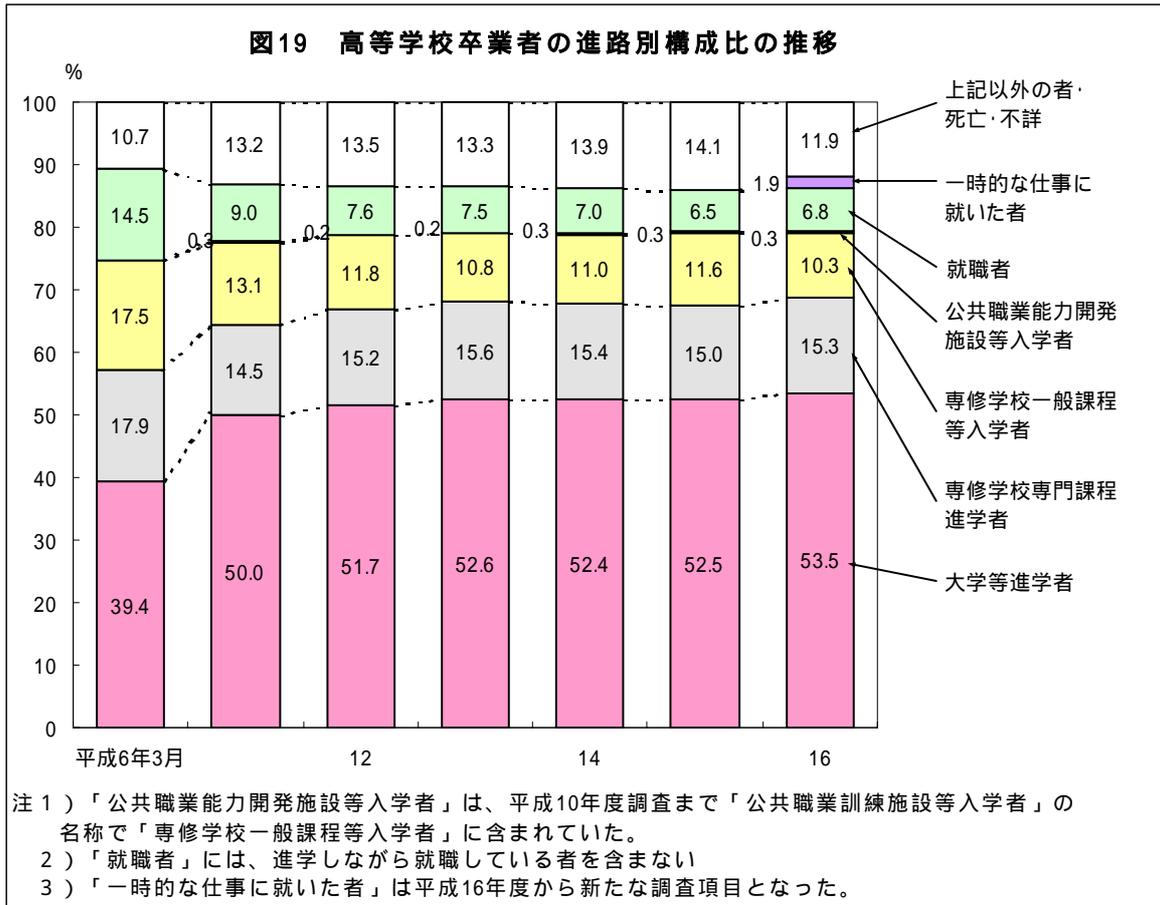
(1) 卒業生数

平成16年3月の高等学校卒業生は、105,697人で前年度より4,471人(4.1%)減少した。
男女別にみると、男が52,226人で前年度より1,658人(3.1%)、女が53,471人で2,813人(5.0%)
減少した。(表43)

表 43 高等学校卒業生の進路別推移

区 分 ()は再掲		平成11年 3月	12	13	14	15	16	男	女
実 数 (人)	卒業生総数 A	117 202	115 216	114 056	112 759	110 168	105 697	52 226	53 471
	大学等進学者	58 576	59 607	59 969	59 101	57 817	56 579	25 782	30 797
	大学学部	45 449	48 889	50 808	50 942	50 615	49 989	25 206	24 783
	短期大学本科	12 983	10 488	8 980	7 971	7 065	6 459	525	5 934
	大学・短大通信制	84	108	109	113	87	75	37	38
	その他	60	122	72	75	50	56	14	42
	専修学校専門課程進学者	17 008	17 487	17 811	17 338	16 506	16 170	7 094	9 076
	専修学校一般課程等入学者	15 641	13 851	12 594	12 719	13 090	10 889	7 054	3 835
	専修学校一般課程等 各種学校	9 417	7 959	7 007	6 877	7 319	6 079	3 830	2 249
	公共職業能力開発施設等入学者	305	283	281	337	351	304	233	71
	就職者 B	10 519	8 741	8 508	7 888	7 167	7 175	4 209	2 966
	一時的な仕事に就いた者	2 042	936	1 106
	上記以外の者・死亡・不詳	15 458	15 530	15 174	15 713	15 588	12 538	6 918	5 620
	(進学しながら就職している者) C	113	110	74	81	59	35	22	13
(就職者+進学就職者) B+C	10 632	8 851	8 582	7 969	7 226	7 210	4 231	2 979	
構 成 比 ・ 進 学 率 ・ 入 学 率 等 (%)	卒業生数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	大学等進学者	50.0	51.7	52.6	52.4	52.5	53.5	49.4	57.6
	大学学部	38.8	42.4	44.5	45.2	45.9	47.3	48.3	46.3
	短期大学本科	11.1	9.1	7.9	7.1	6.4	6.1	1.0	11.1
	大学・短大通信制	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	その他	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
	専修学校専門課程進学者	14.5	15.2	15.6	15.4	15.0	15.3	13.6	17.0
	専修学校一般課程等入学者	13.3	12.0	11.0	11.3	11.9	10.3	13.5	7.2
	専修学校一般課程等 各種学校	8.0	6.9	6.1	6.1	6.6	5.8	7.3	4.2
	公共職業能力開発施設等入学者	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.4	0.1
	就職者 B	9.0	7.6	7.5	7.0	6.5	6.8	8.1	5.5
	一時的な仕事に就いた者	1.9	1.8	2.1
	上記以外の者・死亡・不詳	13.2	13.5	13.3	13.9	14.1	11.9	13.2	10.5
	(進学しながら就職している者) C	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
(就職者+進学しながら 就職している者) B+C	9.1	7.7	7.5	7.1	6.6	6.8	8.1	5.6	

注 1) 「その他」とは、大学・短大の別科、高等学校専攻科及び盲・聾・養護学校高等部専攻科である。
2) 平成16年度調査より、新たに調査項目「一時的な仕事に就いた者」が追加された。



(2) 進学状況

大学等への進学者は、56,579人で前年度より1,238人(2.1%)減少した。男女別でみると、男が25,782人で前年度より222人(0.9%)、女が30,797人で1,016人(3.2%)減少した。進学率は、53.5%(男49.4%、女57.6%)で前年度より1.0ポイント上昇し、過去最高となった。

大学学部への進学率は、47.3%で前年度より1.4ポイント上昇し、短期大学本科への進学率は、6.1%で前年度より0.3ポイント低下した。男女別にみると、大学学部への進学率は、男が48.3%で前年度より1.1ポイント、女が46.3%で1.6ポイント上昇した。短期大学への進学率は、男が1.0%で0.1ポイント上昇し、女が11.1%で0.5ポイント低下した。

専修学校専門課程への進学者は、16,170人で前年度より336人(2.0%)減少した。男女別でみると、男が7,094人で前年度より125人(1.8%)、女が9,076人で461人(4.8%)減少した。進学率は、15.3%で前年度より0.3ポイント上昇した。男女別でみると、男が13.6%で0.7ポイント、女が17.0%で0.1ポイント上昇した。

専修学校一般課程等入学者のうち、専修学校一般課程等は、6,079人で前年度より1,240人(16.9%)、各種学校は、4,810人で610人(11.3%)減少した。

公共職業能力開発施設等の入学者は、304人で、男が233人、女は71人となった。

(表43、図19、統計表10-2)

(3) 就職状況

就職者総数は7,210人(就職者7,175人、進学しながら就職している者35人)で前年度より16人(0.2%)減少した。男女別にみると、男が4,231人で前年度より82人(2.0%)増加し、女が2,979人で98人(3.2%)減少した。

就職率は、6.8%で前年度より0.2ポイント上昇し、昭和61年度から前年度まで減少が続いていたが、今年度19年ぶりに増加した。男女別では、男が8.1%で前年度より0.4ポイント、女は5.6%で0.1ポイント上昇した。

今年度から新たに調査項目に加わった「一時的な仕事に就いた者」は、2,042人で卒業生数の1.9%(男1.8%、女2.1%)となった。

職業別では、「生産工程・労務作業者」が2,089人(構成比29.0%)と最も多く、次いで「販売従事者」1,425人(同19.8%)、「事務従事者」1,273人(同17.7%)の順となった。男女別にみると、男は「生産工程・労務作業者」の1,820人、女は「事務従事者」の1,050人が最も多かった。

産業別では、「製造業」が1,715人(構成比23.8%)と最も多く、次いで「卸売・小売業」1,701人(同23.6%)、「サービス業」820人(同11.4%)の順となった。

(表43、図20、図21、統計表10-5、統計表10-6、付表3)

